

環水工房有限会社 (福井県福井市)

●対象国：インドネシア



「水道未普及地域の解消に用いる軽量、小型、省エネ型RO膜ろ過装置の製造と販売に関する基礎調査」

インドネシア西マランガイ島の島々では生活に井戸水を使用していますが、海水から混入する塩分やカルシウムの濃度が高く、飲料水はもちろん、洗濯水としても十分に使用できない状況にあります。

県の水道普及率は、県都でも43%、地先の島々では殆ど普及が進んでおらず、水道普及計画における課題となっています。

この問題に対し、除濁技術を基礎とした様々なろ過装置の納入実績がある同社は、その強みを生かし、島嶼地域にも導入可能な軽量・小型かつ省エネ型のRO(逆浸透)膜ろ過装置を用いて、井戸水処理し水道水として供給することを目指しています。



アムズ株式会社 (石川県金沢市)

●対象国：モロッコ



「油脂分解菌浄化システムの導入によるオリーブ搾油果汁廃液の汚染力低減に関する案件化調査」

モロッコ政府は2020年までにオリーブ生産量を現状の約2倍にあたる250万トンに増大し、オリーブオイル加工業の育成および輸出量の拡大を目標に掲げています。一方で、オリーブの搾油過程で生じる「マルジン」と呼ばれる搾油果汁廃液などの排水・残渣の不適切処理や不法投棄などにより、工場集積地周辺の河川の汚染や貯留池付近の悪臭が深刻な問題となっており、適切な処理に対し緊急対応が求められています。



この状況に対し、同社の「油脂分解菌浄化システム」を活用し、油脂分を分解・除去する微生物と浄化槽を組み合わせた浄化作用による「マルジンの汚染力低減」を図ります。これにより環境保全効果の高い処理システムの確立および環境負荷の少ないオリーブ産業の持続的発展を目指しています。



株式会社北陸精機 (富山県魚津市)

●対象国：ミャンマー



「マイクロ水力発電技術の普及・実証事業」

ミャンマー国では、2011年以降の民主化を背景として、インフラ整備に取り組んでいるものの、電力不足問題は深刻であり安定した電力供給は喫緊の課題となっています。

同国では水力発電が約67%を占めていますが、地方での電化率は約16%と遅れが目立っており、政府は「地方電化支援委員会」を結成し、無電化集落の電化に着手することを計画しています。



本事業では、同社のマイクロ水力発電機を灌漑用水路に設置して、発電と電力供給の実証事業を行います。将来的には現地製の低コストで有用性の高い発電機を提供することにより、地方無電化村落における生活改善の一助となることを目指しています。



福井銀行と「業務連携・協力に関する覚書」を締結！



5月7日、株式会社福井銀行(福井市)とJICA北陸は、中小企業海外展開支援を効果的に実施していくため、「業務連携・協力に関する覚書」を締結しました。

JICAが金融機関と結び覚書としては、北陸3県では2行目、福井県では初めてとなります。本提携により、開発途上国へのビジネス展開を検討または予定されている中小企業に対する充実した支援を実施してまいります。

メキシコからのJICA研修員

日豊コンピューターコース
K.I.T.金沢工業大学で学ぶ

INTERVIEW

フリアンさんにインタビュー



6.24に行われた開講式での記念撮影



Q. 金沢工業大学でどのようなことを研究しますか？

人間の感情というのは脳の中の電気信号で成り立っているのですが、どういう感情の時に脳の電気信号はどのように反応するのかを分析して明らかにしたいと思っています。これが解明できれば、悲しい時でも楽しい電気信号を流せば楽しくなるわけです。



研修員の仲間と一緒に

Q. 金沢に来て、楽しかったことはありますか？

湯涌温泉、武家屋敷、兼六園、卯辰山、いろんなところに行きました。金沢は、高台に登れば、パッと街が見渡せたり、キャンパスの周辺には水田があったり、そういう自然も感じています。忍野寺も行きましたが忍野はいませんでした(笑)

Q. メキシコと日本の文化の違いで驚いたことはありますか？

メキシコでは街中でも大声で騒いだりしますが、日本はとても静かで驚きました。街中で騒がないこともそうですが、道にごみを捨てないことなどいろんなルールに従って生活していて、それが子供の頃から出来ているのがすごい。

また、日本人は普段とてもシャイに感じますが、カラオケに行くと飲んで騒ぎ始めるとみんな一気に打ち解けていくので驚きました。でもそのおかげでラボでもすぐに馴染めました。

梨杏里がサモアに行くって Really? 06 本編



青年海外協力隊員 田畑 梨杏里さん Riari Tabata

石川県・七尾市出身。職種は障がい児・者支援で、派遣国はサモア。高校生の頃から海外に住んでみたいという夢を持ち、青年海外協力隊に参加。

金沢市を本拠地とするプロバスケットボールB2リーグ所属チーム「金沢武士団」より、ボール25個と練習着60着を寄贈していただき、サモアで活動する田畑梨杏里さんのもとへ届けられました！



Q1 受け取ったバスケットボール用品は、どのように使われていますか？

3つの支援学校に届け、子供たちが学校でバスケットボールに触れることができるようになりました。現地のNGOであるスペシャルオリンピックスサモアにもボールを保管してあり、コート借りて子供たちに教える時に使っています。支援学校対抗のゲームを行う際に練習着を利用してチーム分けをしました。

Q2 サモアで人気のスポーツは何でしょうか？

サモアではやはりラグビーが人気です。村でよく見かけるのはバレーボールとクリケット。女の子たちにはネットボールも人気だったので、バスケットボールの導入はスムーズでした。サモアにはモルモン教会がたくさんあるのですが、教会の中には必ずコートがあり、モルモン教徒の人にはとても馴染みがあります。

Q3 活動の期間も残り数カ月となりましたが、今後の目標を教えてください。

わたしが帰国した後も各支援学校が健康増進プログラムを継続していけるように、支援学校と医療系組織のネットワークを作ることです。



JICA ボランティア説明会キャラバンの日程 (北陸3県)

JICAでは年間を通じて、全国約50箇所で行われるJICAボランティア説明会キャラバンを開催し、ボランティア経験者の体験談発表や個別相談を行います。7月～9月には、北陸3県でも右の日程で説明会を開催いたします。

日時 2018年7月21日(土)
①11:00～13:30
②14:30～17:00
会場 石川県地場産業振興センター本館3階 第6研修室

日時 2018年8月25日(土)
①11:00～13:30
②14:30～17:00
会場 ボルファートやま 称名の間

日時 2018年9月22日(土)
①11:00～13:30
②14:30～17:00
会場 福井市地域交流プラザ(AOSSA) 研修室605

※いずれの日程でもWEB予約が必要です。(全国説明会キャラバンHP) <https://www.jica.go.jp/volunteer/seminar/place/>